

【広島県】具体的な取組内容 ①（参入促進）

参入促進

1. すそ野を広げる ～多様な人材の参入促進を図る～

介護の3つの魅力(楽しさ・深さ・広さ)の情報発信によるイメージアップ

- 「介護の日」フェスタin広島 イベントの開催【基金】(添付③)
- 「介護の日」ポスター募集(小・中・高校生)【基金】
- 小中学校を訪問し、地域の施設・事業所の職員が講演会を実施「介護プチ講演会」(小・中学生)【基金】
- 一般大学のキャリアセンター担当者を集めた連携会議の開催【基金】(添付④)
- 一般大学理解促進就職セミナーの開催【基金】
- 一般大学の学生を一堂に集めた横断型セミナーの開催【基金】
- H25、26年度に作成した高校生向けDVD、女性向けパンフ、一般大学生向けパンフ、若年層向けとして作成したヘルプマンジャパン広島の活用
- 福祉・介護業界紹介番組の実施(県内の福祉・介護事業所から負担金による協議会独自業) (添付⑤)

- 「介護の日」フェスタ:参加者3,000人目標
- ポスター募集:800枚目標
- 介護プチ講演会:小・中学校各25校
- 一般大学キャリアセンター担当者会議:実績7/9, 11大学(第2回を12月予定)
- 一般大学セミナー:昨年7大学55人以上を目標
- 一般大学横断型セミナー:定員50人
- 各事業での啓発物の配布
- 視聴率9%以上(平均視聴率)

高校教師・親の理解促進、地域志向型の若者の掘り起こしの強化

- 養成校の職員等により高校を訪問し、保護者・生徒・教師を対象に説明会を実施【基金】
- 施設・事業所を各地域で開放していただき、職場体験へ誘導する。【基金】

- 高校理解促進:実績(教員200人, 生徒583人)
- 施設・事業所解放:予定(施設体験160人, バスツアー-2回予定)

中高年齢者の地域ボランティア参画等の促進

- 施設・事業所を各地域で開放し、地域の方々に職場の魅力を発信【基金】

- 施設・事業所解放:予定(施設体験160人, バスツアー-2回予定)

その他の「参入促進」の取組

- 潜在的有資格者を対象とした再就職促進事業【基金】

- 再就職促進:定員30人を100%マッチングに結び付けることを目標

【広島県】具体的な取組内容 ② (労働環境の改善)

労働環境・処遇の改善

2. 道を作る ~キャリアパスを構築する~

3. 長く歩み続ける ~定着促進を図る~

代替職員の確保等による研修機会の確保

○医療的ケア(喀痰吸引)実地研修を行う指導看護師の養成に係る経費及び代替職員の派遣費の補助【基金】

○医療的ケア:200人養成を目標

小規模事業所の協働による研修支援

○合同初任者研修の実施(介護経験3年以内の新任職員対象【基金】)
○中高度の介護スキル習得研修の実施(介護経験20年程度の職員対象【基金】)
○雇用管理改善方策の修得研修の実施(管理職員対象【基金】)
○施設・事業所に講師を派遣し、技術指導及び技術セミナーの実施(全職員対象【基金】)

○合同初任者研修:7会場3回(各25人)を目標
○中堅職員研修:15ユニット4回を目標
○管理職員研修:6会場2回(各10人)を目標

エルダー・メンター制度の導入支援による早期離職の防止

○「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」をツールとして活用し、個々の職員のスキルの客観的評価や能力開発等を行う事業所にインセンティブとして「介護マイスター」を認定【基金】

○アセッサー(評価者)25人以上、レベル4(5人以上)を目標

事業所内保育所の運営支援による出産・育児との両立支援

—

—

雇用管理改善の推進(介護ロボット導入支援やICTの活用等)

—

—

その他の「労働環境・処遇の改善」の取組

○自ら就業環境の整備について自己点検ツール(アンケート)によりチェックし、結果を基に改善に結び付けるための取り組み支援(魅力ある職場づくりのための自己点検ツールの提供)【基金】(添付⑥)

○自己点検ツール:8モデルから成果を発信し、昨年の697事業所、従事者6,746人以上を目標

※ 適宜、参考となる資料を添付してください

【広島県】具体的な取組内容 ③（資質の向上）

資質の向上

4. 山を高くする ～継続的な質の向上を促す～

5. 標高を定める ～人材の機能分化を進める～

マネジメントや医療的ケア・認知症ケアなどの研修の受講支援

- 経営者意識改革セミナー（経営者、管理者対象）【基金】
- 管理者・中間管理者向け人材マネジメントセミナー（管理者、リーダー対象）【基金】

- 経営者意識改革セミナー：定員80人
- 人材マネジメントセミナー：定員2地域各70人

その他の「資質の向上」の取組

- H26年度に作成した「採用戦略マニュアル」を活用し、採用・人事担当者向け採用戦略セミナーの開催（採用・人事担当者職員対象）【基金】
- 採用・人事担当者採用ロールプレイ研修の実施（採用・人事担当者職員対象）【基金】
- H25年度に作成した「介護基礎技術ハンドブック」を活用し、新任職員及び指導的職員を一堂に集めた研修会の開催

- 戦略マニュアル研修：2地域各30人
- ロールプレイ研修：2地域各30人
- 県標準マニュアル研修：4地域各30人

協議会設置

協議会の構成団体

【23団体】（添付①、②）
学識経験者、社会福祉法人広島県社会福祉協議会、社会福祉法人江田島市社会福祉協議会、県社会福祉法人経営者協議会、県老人福祉施設連絡会、県老人保健施設協議会、県身体障害者施設協議会、県知的障害者福祉協会、県訪問介護事業連絡協議会、公益社団法人県看護協会、公益社団法人県介護福祉士会、公益社団法人県社会福祉士会、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟、社団法人日本社会福祉士養成校協会、公益財団法人介護労働安定センター、県生活協同組合連合会、県市町会、県町村会、県労働局職業安定部職業安定課長、県教育委員部長、県商工労働局産業労働部長、県健康福祉局地域ケア部長

平成27年度に議論を想定している議案

- 福祉・介護分野のイメージアップ（福祉・介護業界紹介番組）（県内の福祉・介護事業所から負担金による協議会独自業）（添付⑤）
- 各地域で関係者が一体となる仕組みづくりとして、協議会の市町版の立上げ支援【基金】（添付⑦）
- 介護実態調査の実施【基金】

人材育成に取り組む事業所の認証評価制度の検討状況

【事業名】
「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」（添付⑧）

【趣旨】
自ら就業環境の改善（人材育成やキャリアパス、定着・給与改善等）に取り組み、その内容を積極的に開示する事業所を、広く県民に周知を図ることにより、事業所のイメージアップ、離職者の減少、求職者への「見える化」を推進し、福祉・介護の人材確保・定着に繋げることを目的とする。（目標：H27：100法人）

【主なインセンティブ】
・ハローワークの求人票に「宣言事業所」として「見える化」を図る。
・金融機関で低額融資を受けることができる。
・協議会HP、各事業等で「見える化」を図る。

【宣言募集開始】
平成27年8月1日

※ 適宜、参考となる資料を添付してください